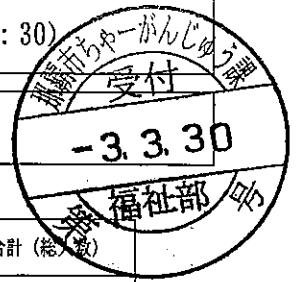


事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年1月15日 (18:00~19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10人



◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	0人	14人

**前回の改善計画**  
職員のリーダー制を実施し、情報を集中させることにより連絡・指示ができるようになる。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
リーダー制の実施により、リーダーからの職員への連絡がスムーズになった。初期の利用者に対する支援 (特に送迎時での家族が職員に利用者へしてほしいこと) が統一して行えるようになってきた。反面リーダーへの報告漏れが見られる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	⑦	4	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	⑨	2	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	⑨	0	1	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	⑩	1	0	14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・申し送り帳や付随する利用者情報など及びミーティングでのケアマネや管理者からの利用者の情報を得ることができるようになった。
- ・職員が新規の利用者への声掛けが質問形式でできるようになった。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・新規の利用者や家族との信頼関係を築くには時間を要する。
- ・利用者の情報など、まだ目の前の仕事に追われ読んでないことがある。または忘れてりする。
- ・リーダーへの報告が問い掛けしないと出てこない時がある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

- ・4/1 までには利用者の要約した情報を申し送り帳に付け加え、目を通しておけるようにする。
- ・4/1 までにメモ帳を配布し職員は何かあったことをメモする。ミーティングではリーダーが職員から確認し情報を共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年1月15日(18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	6人	0人	14人

**前回の改善計画**  
連絡帳の活用や送迎時などでの、家族との対話で知るようにする。  
また、ケアマネジャーはモニタリングで集めた情報をミーティングで周知する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
まだ本人の目標を知っているという職員は少ない。しかしミーティングや連絡帳・日常生活での利用者の行動や家族との対話などで、少なくとも「今はこうしたい」という思いを汲み取る意識が出てきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	4	⑥	1	14
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	4	⑥	1	14
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	⑥	4	1	14
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	⑥	5	0	14

**できている点** 200字程度で、できていること、その理由を記入すること  
・日常生活での利用者へ関心を持つことで、言葉や表情から気持ちを汲み取ることができるようになってきた。  
・ミーティングや職員間の会話や連絡帳からも利用者の情報を得て、支援を行うようになった。

**できていない点** 200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること  
・意思表示が困難な人の目標が汲み取れない。  
・目標についてアセスメントを出しているが、量が少ないか読んでいないあるいは読み込めていない場合がある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
・4/1までには利用者の要約した情報を申し送り帳に付け加え、利用者や家族との対話に結び付ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年1月15日(18:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

**前回の改善計画**  
ミーティングでケアマネージャーや管理者より以前の情報を提供してもらう。送迎時等での家族との会話で本人の状況を把握する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
ミーティングで日常生活の支援方法を提起し、後日ミーティングや定例会などでその結果を評価することができるようになった。送迎時では家族からの報告を受け、支援ができるようになったが、全ての利用者に目が届いていないこともある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	⑦	4	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	⑨	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	⑩	1	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	⑨	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	⑩	0	0	14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・利用者のことを「もっと知りたい」と「知らなければ」と思う気持ちを持っている。また行き過ぎた介助を行わないような意識も高くなってきている。  
 ・家族からの本人の様子や職員が観察した体調不良や不安なことなどの気付きをミーティングでも伝えることができるようになった。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・集団生活になれない利用者に対して積極的な声掛けが出来ていない。その結果利用者の変化に気付けないことがある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 話しやすい利用者に声掛けする傾向がある。ミーティングではリーダーが声掛けの少ない利用者の名前を挙げて様子をみんなで確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 1月15日 (18:00~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	2人	0人	14人

前回の改善計画  
小規模周辺の資源を利用者に知ってもらおう。近所に保育園など様々な資源がある。積極的に声掛けして小規模での各行事に参加してもらおう。

前回の改善計画に対する取組み結果  
このコロナ禍の中、地域の方々への積極的な声掛けが出来ず行事への参加も行えなかった。しかし日頃の挨拶や対話の中で、地域の方々から利用者の近況の声や「今ここに利用者がきてたよ」などの電話もあったりする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	⑩	2	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	⑨	2	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	⑦	5	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	⑥	5	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・近隣住民への挨拶や地域の商店などへの声掛けで、利用者の日頃の様子を知ることができるようになった。  
 ・職員がミーティング等で情報を得て、利用者との会話の中で過去の生活様式などの質問を入れることができるようになった。  
 ・近くの保育園児が利用者への声掛けや手を振ったりしてもらうことで元気をもらっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・近隣の方や家族の来訪時の挨拶が出来ない時がある。  
 ・民生員等の地域の資源を把握ができていない。  
 ・ミーティングを通しての情報提供が出来ていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 職員は利用者の送迎時に会う人に挨拶を欠かさない。  
 運営推進会議に民生員さんが参加してもらうように声掛けする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 1月 15日 (18:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	2人	0人	14人

前回の改善計画  
職員のリーダー制を実施することで、職員間の連携不足を補い、本人や家族の思いが共有できるようにしたい。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ミーティングでリーダーから家族や利用者からの要望が全員に届くようになりつつある。急な「通い」「訪問」「宿泊」への対応も職員が理解して受け入れることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	⑩	0	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	⑨	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	⑨	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	⑧	0	0	14

できている点 200字程度で、できていること、その理由を記入すること  
 ・利用者の変化にミーティングで共有し家族への報告やサービス変更などの柔軟な対応ができるようになった。  
 ・地域の食堂や商店・近隣の方など色々な資源を使って利用者の見守りや或いは在宅での支援ができるようになった。

できていない点 200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること  
 ・「宿泊」や「通い」時、利用者が帰りたいたいということがあり、利用者へ妥当な「通い」「訪問」「宿泊」になっているか、疑問に思うことがある。利用者の要望ではなく家族の要望にできていると思うことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 今後も柔軟な対応を続けていく。家族へは利用者の様子を職員が送迎時や連絡帳・電話・メールなどで伝えることができるようになる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 1月 15日 (18:00~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	14人	14人

前回の改善計画  
事業所外での職員の参加が難しい為、各行事などを地域資源の方々（保育園園児など）へ年間スケジュール等を配り周知して頂くことで事業所へ訪れていただく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
コロナ禍において年間スケジュールを配ることができなかったが、道路から見えるベランダの飾り付けへの地域の方々から応援の声をいただいた。保育園児からは模様替えの飾り付けの時は「寂しい」「すっげー」など様々な声があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	⑤	⑤	2	2	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	⑥	3	2	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	⑤	4	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	⑤	⑤	2	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・訪問看護・訪問リハ・福祉用具を含めたサービス機関との会議が行われ、利用者の医療的支援を含めた取り組みがあった。福祉用具とは車椅子での正しい姿勢を保持するための話し合いなど頻繁に行われている。  
 ・管理者やケアマネが包括支援センターの会議に出席や相談を行っている。  
 ・地域の自治会へ毎週水曜日にアルミ缶回収の応援を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・管理者やケアマネのみが地域や包括支援センターの会議に参加している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 地域のイベントや会議または包括支援センターの会議に職員が参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 1月 15日 (18:00~19:30)

7. 運営

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	3人	0人	14人

前回の改善計画
日々のリーダー制を形作って、指示・連絡を徹底する。重要だと判断した場合チェック表を作成し、共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者や家族からの苦情や要望をミーティングで話し合えるようになってきた。チェック表を作成する前に職員間で注意や促しができるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	⑨	3	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	⑪	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	⑧	2	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	⑤	⑤	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・地域の方より朝に利用者の不潔行為があると苦情があつて対応したことがあつた。職員間で話し合い、送迎を早めに迎えることで、地域の方からも良くなったと言われたことがあつた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職員間での申し送り事項が徹底ではなく、ミーティングでのテーマが繰り返してしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・協働した取り組みの為、地域自治会の毎週水曜日の空き缶回収の協力を職員が家庭から持ち寄る!

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 1月 15日 (18:00~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	6人	2人	14人

前回の改善計画  
参加した研修後は報告書を作成してもらい定例会で発表する。月1回の定期的な勉強会も続ける。

前回の改善計画に対する取組み結果  
月1回の勉強会が利用者増加により定期には行えなかった。ミーティングで介護保険や感染対策についての話し合いを頻回に行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	⑥	2	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	⑥	0	3	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	⑤	4	3	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	⑩	2	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・ 職員の協力のもと、研修には積極的に参加した。  
・ 個別でインターネット視聴での勉強をした。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・ コロナ禍で研修が減り、全員が研修には行けていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・ 研修計画を立て研修に参加していく。  
・ 定例会で月1回の勉強会を引き続き継続して計画する。  
・ 講師を招いて施設内研修を実施し、参加できるようにする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 15 日 (18:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	1 人	12 人	1 人	14 人

前回の改善計画	月 1 回の勉強会の中で人権についてのテーマについて実施する。研修があれば参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・人権に関しての研修中止になり参加できなくなった。勉強会も利用者増しに伴い、実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	⑪	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	⑬	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	⑪	3	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	⑧	4	1	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	⑨	5	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待は行われていない。 ・成年後見人制度を必要とする利用者があり、活用に向けてケアマネを中心に取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員や利用者が増えたこと、コロナが蔓延してきたことで小規模多機能型居宅介護の勉強会や資料を用いた感染症の勉強会の実施するあまり、計画通り人権に関しての勉強会を行うことが出来なかったが、2 月に成年後見人制度の活用として勉強会を行うことができた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・前回の改善計画を継続する。月 1 回の定例会の中で人権についてのテーマについて実施する (9 月までの間に)。 ・人権に関する研修に参加する。	